

# 農地利用最適化推進委員

## 3 自ら応募

募集区域：第1(羽合)

番号	応募者										
	氏名	職業	年齢	性別	経歴		農業経営の状況		認定農業者等として認定の有無	抱負	農業委員への応募の有無
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積(アール)			
1	清水 武敏	農業	76	男	昭和43年～昭和49年 昭和49年～平成21年 平成21年～現在	会社員 地方公務員 農業	水稲 果樹 主な作目(梨)	90	無	日本の人口は少子高齢化しており、中でも農業については、担い手不足と同時に離農、後継者不足が問題となっている。これらのことから町内の農地すべてを町内耕作者で耕作することは困難が予想される。 このことを解決するため、他地区の営農団体等への働きかけが重要だと考えます。耕作放棄地をなくすため、中間管理機構等を活用しながら手助けをしたいと思います。	無

募集区域：第3(東郷)

番号	応募者										
	氏名	職業	年齢	性別	経歴		農業経営の状況		認定農業者等として認定の有無	抱負	農業委員への応募の有無
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積(アール)			
1	前田 協子	農業	66	女	令和元年～ 令和4年～現在	学校勤務 早期退職し、農業従事(水稲、梨) 自家野菜、趣味の園芸	露地野菜 果樹 主な作目(梅、柿、プラム、ブルーベリー、びわ、いちじく、みかん)	105	無	東郷地域に田畑を持つ者であります。 我が家も父母、夫を亡くし、水田の管理が出来なくなりました。と同時に、米の値段も上がり、たくさんの水田を所有しながらも、これまでの様に耕作することが出来ず、他の人に依頼しているものの、我が家は自家米をお金を払い、買って食べていることへの現状を悲しく痛感しています。多額の固定資産税、土地改良区費の支払いに納得がいかず、立ち上がる決意をしました。 これからの地域の個々の農業には限界があります。農地利用最適化推進委員として動きながら模索し、農家の皆さまを守りたいです。	無
2	伊藤 文夫	農業	72	男	昭和48年4月～昭和55年10月 昭和55年10月～平成8年11月 平成8年11月～現在 平成7年7月～現在	農業に従事 (有)朝倉ガラス店勤務 農業に従事 湯梨浜町農地利用最適化推進委員	水稲 果樹 主な作目(梨)	201	認定を受けている	農業人口の減少、特に果樹農家の減少が著しい。また、高齢者が多く、耕作放棄地の管理が出来ない。 定期的に農地のパトロール、農地の集約化や遊休農地の解消、新規就農の促進などに努めます。 農業新聞購読の推進、農業者年金加入の推進に努めます。	無
3	岡本 章	農業	78	男	昭和53年4月～平成25年8月 平成25年8月～現在 平成28年3月～令和2年3月 令和2年7月～令和5年7月 令和5年7月～現在	郵便局勤務 農業 東郷土地改良区理事(会計担当) 湯梨浜町農地利用最適化推進委員 湯梨浜町農地利用最適化推進委員	水稲 露地野菜 果樹 主な作目(水稲)	60	無	湯梨浜町も少子高齢化社会になり、農業生産はもとより農地を取り囲む地域社会そのものの維持が見通せない。特に、中山間地域の多い旧東郷地区では顕著である。 東郷地区住民としての年齢的な経験実績と人的交流を利用して、農地の維持継続と発展に少しでも貢献したい。	無